



テーマ「小児医療から生まれる『気づき』を見据える」

日頃各事業所で奮闘されている皆様に、心より敬意を表します。

今回の研究会テーマを「小児医療から生まれる『気づき』を見据える」とさせていただきました。私たち医療者は、日々の活動を通して得られる気づきを大切に、よりよい医療を作り上げようと努力しています。現場の皆様からの多くの報告を期待しております。

今回、鹿児島大学から高嶋博先生をお招きし、記念講演をお願いいたしました。現在我が国ではHPVワクチンの接種率が他の国を大きく下回っています。ワクチンの副反応に対する懸念のためです。私たちの施設でも、過去にワクチンの副反応と思われる一過性の神経障害を経験しました。しかし複数の専門家からは、このために子宮頸がん予防の取り組みが大幅に遅れてきたと指摘されています。日本でもワクチンの接種率を向上させるよう、複数の学会から声明が出されてきています。

一方で、ワクチンの副反応の病態も明らかにされてきました。高嶋先生は、ワクチン後の多様な症状に苦しむ患者さんの診療を通して自己免疫性脳炎の病態を明らかにし、治療に取り組んでこられました。今回高嶋先生をお招きしたのは、ワクチンの効果と副反応の実態を正しく理解したいと考えたからです。そして接種を受ける人々へ説明する義務が、現場の私たちにはあると考えています。ご参加よろしくお願い申し上げます。

実行委員長 齋藤 耕一郎（群馬・前橋協立病院）

開催概要

- 日時 2019年10月20日（日曜日）10時～15時30分 終了予定
- スケジュール（予定）
 - 10：00 開会・実行委員長あいさつ
 - 10：10 演題発表（分科会）
 - 12：00 昼食
 - 13：00 記念講演「HPVワクチンについて（仮）」
講師：高嶋 博 先生（鹿児島大学脳神経内科・老年病学講座教授）
 - 15：00 全体会
 - 15：20 閉会あいさつ
- 会場 平和と労働センター・全労連会館（全日本民医連と同じ建物）2階ホール
〒113-0034 東京都文京区湯島 2-4-4 TEL:03-5842-5610
- 参加対象 東日本（関東甲信越地協、東北・北海道地協、静岡）の小児科医療に携わる職員（パート含）、民医連奨学生及び医学生
- 参加費 一人5,000円（昼食代込）

参加申し込み、演題募集、始まっています

参加申し込み及び演題の申し込みがすでに始まっています。

第1次の参加集約が **8月31日（土）** となりますので、ぜひ早めのお申し込みをお願いします。詳しくは、開催案内（第2報）をご参照ください。



お問い合わせは

群馬民医連事務局：澤田（TEL：027-234-8505／E-Mail：syouni2019@gunma-min.jp）まで